

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
(再)キャリア演習 I				齋藤 達弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	3 年次	演習	有	
授業の概要 (Course Description)					
<p>この演習は、地方に本社を置く、新規上場の企業研究である。誰（経営者）がどのようにしてビジネスを始め、どのように育てて新規株式公開に至ったのか、その過程で誰（株主や銀行）がどのように関係してきたのかを調査し、レポートを作成する。調査資料は、「新株式発行並びに株式売出届出目論見書」（目論見書）や新聞（日経新聞の地方経済面、地元の新聞）、雑誌（日経BP社が発行している日経ビジネスや日経トップ・リーダー）、証券会社が発行しているアナリスト・レポートなどである。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
地方に本社を置く、新規上場の企業研究レポートを作成すること。					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンスとキャリア演習Iの全体像				
第 2 回	テーマ設定 (1)				
第 3 回	テーマ設定 (2)				
第 4 回	調査の報告 (1)				
第 5 回	調査の報告 (2)				
第 6 回	調査の報告 (3)				
第 7 回	調査の報告 (4)				
第 8 回	前半のまとめ（レポートの内容について大枠を固める）				
第 9 回	草稿の報告 (1)				
第 10 回	草稿の報告 (2)				
第 11 回	草稿の報告 (3)				
第 12 回	草稿の報告 (4)				
第 13 回	草稿の加筆修正 (1)				
第 14 回	草稿の加筆修正 (2)				
第 15 回	後半のまとめ（レポート提出）				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
演習は受講者の報告が中心である。進捗を報告できるように準備すること。					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (40%) 課題 (60%)	秀：論点を特筆すべき水準で理解している。 優：論点を適切な水準で理解している。 良：論点をおおよその水準で理解している。 可：論点を最低限の水準で理解している。 不可：論点の理解が最低限の水準に達していない。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 ※とくに、なし。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	必要に応じて、適宜、紹介する。
備考 (Other Information)	再履修科目であるから、新規の履修登録は認めない。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メール連絡。